

東京大学教養学部英語コース PEAK におけるオンライン・アプリケーション・システムの導入

教養学部 学部長 森山工

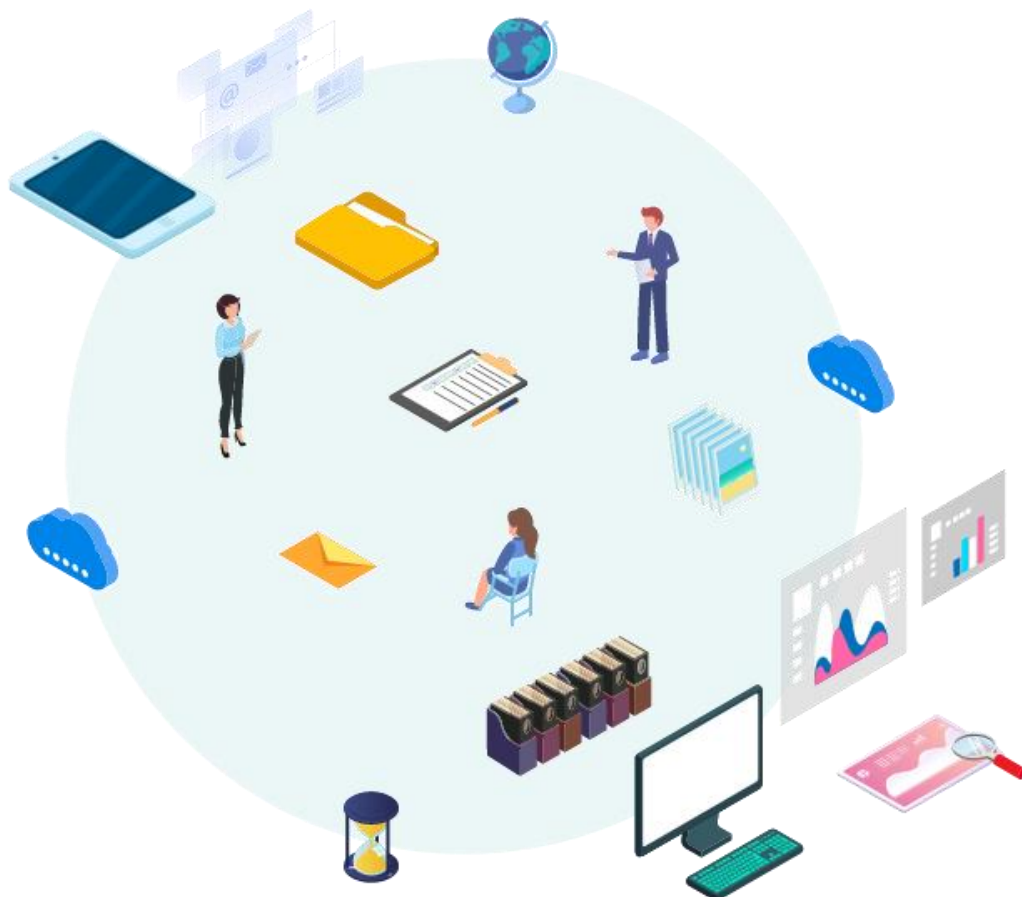
PEAK* (Programs in English at Komaba) では、2021 年度入学者の AO 入試より先駆的な新しいオンライン・アプリケーション・システム (OAS) を導入しました。

PEAK 入試においては、2012 年のコース開始以来、世界各地から優秀な学生の募集と選抜を継続的に行なってきました。しかしながら、世界の高校生が受験する入試においてもグローバルな競争が激しくなっており、PEAK の入試選抜方法を改善する必要性が指摘されていました。特に、PEAK 入試は世界各国から優秀な高校生を募集するというミッションがあるほか、コロナ禍やデジタルトランスフォーメーション (DX) への対応が課題になる中、地理的・時間的な制約を受けないオンラインによる入試システムを構築することが急務でした。

そこで、出願に関わる受験者の利便性のみならず、教育運営上の効率化を通じて教職員による業務負担の軽減と入試審査業務の簡便化を可能とする、クラウドを活用した OAS の構築を行い、2021 年度入学者の AO 入試より入試業務のほぼ全てをオンラインで運用できるようになりました。

この OAS 導入により、上記の目的が達成されただけでなく、これまで窺い知ることができなかった潜在的な出願者像の情報を得ることが可能になり、受験者の傾向などのデータ分析も可能になりました。

OAS 導入によって、教養学部英語コース PEAK の入試が大きく変化したことは、入試戦略のみならず、教養学部ひいては東京大学の教育運営や DX の大きな転換点となったと言えます。





*PEAK (Programs in English at Komaba)とは

- ・ 東京大学は英語のみで学士号を取得できるコース(PEAK: Programs in English at Komaba, The University of Tokyo)を設置することで、キャンパスのさらなる国際化を目指しています。このコースは、世界各地から優秀な学生が集うグローバルキャンパスの形成に貢献するとともに、次代を担うグローバルリーダーを養成するためのものです。
- ・ PEAKの前期課程(1・2年次)は「国際教養コース」と呼ばれ、後期課程(3・4年次)は「国際日本研究(The International Program on Japan in East Asia)」と「国際環境学(The International Program on environmental sciences)」の二つのコースから成ります。これらのコースにおける教育を通し、東京大学の誇る優れた教育プログラムと研究環境を、世界各地から集う学生たちに提供することを目指します。
- ・ PEAKに所属する学生は、まず、文科三類か理科二類の「国際教養コース」に入学し、後期課程では原則として文科三類の学生は教養学部国際日本研究コース、理科二類の学生は教養学部国際環境学コースに進学することとなります。